

科目名	成人看護Ⅶ (感覚器・歯口腔機能障害の看護)					DP3 DP4	看護高等課程
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	31時間	担当 教員	加藤 博彦(8.5)、伊澤 秀身(8) 落合 崇規(6)、梅田 真由美(8.5)
科目概要	看護職者として必要な感覚器・歯口腔機能眼に障害のある患者の治療に伴う看護について学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な眼疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 2. 主な耳鼻咽喉疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 3. 主な皮膚疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 4. 主な歯・口腔疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1~4	感覚器機能障害の看護	目の構造と機能、主な症状とその病態生理、主な検査・治療・処置				講義	加藤
		おもな疾患とその治療 結膜疾患、白内障、緑内障、網膜疾患					
		患者の看護 主な症状と看護、診察・検査・治療・処置を受ける患者の看護、眼疾患患者の看護、中途失明患者の看護					
5~8	感覚器機能障害の看護	耳鼻咽喉の構造と機能、主な症状とその病態生理、主な検査・治療・処置				講義	伊澤
		おもな疾患とその治療 耳疾患、鼻疾患、咽頭疾患、喉頭疾患					
		患者の看護 主な症状と看護、診察・検査・治療・処置を受ける患者の看護、耳鼻咽喉疾患患者の看護 (急性中耳炎、慢性副鼻腔炎、急性扁桃炎、喉頭がん)					
9~12	皮膚疾患の看護	皮膚疾患の基礎知識 皮膚の仕組みとはたらき、症状とその病態生理、おもな検査とその介助、治療とその介助				講義	梅田
		おもな疾患 熱傷、帯状疱疹、アトピー性皮膚炎					
		患者の看護 共通する看護、スキンケア、症状に対する看護、治療・処置を受ける患者の看護、皮膚疾患患者の看護、植皮術を受ける患者の看護					
13~15	歯・口腔機能障害の看護	歯・口腔の構造と機能、主な症状とその病態生理、主な検査・治療・処置				講義	落合
		おもな疾患とその治療 齲蝕、歯周病					
		歯・口腔疾患患者の看護 疼痛、出血、開口障害、味覚障害、摂食嚥下障害、言語障害					
16	試験(1時間)					試験	
評価基準	加藤(25点)・伊澤(25点)・梅田(25点)・落合(25点)の計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門10 成人看護Ⅲ 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							